

損失関数 概要 無料講演 募集要項

■ 講演タイトル

利益損失を防ぐ 自社と顧客の経済的リスクを根拠にした 「安全係数と検査基準・規格値」決定法 損失関数 (JIS Z 8403) 概要

■ 概要

- ※ **日時** : 2024年4月16日(火) 13:30~15:00 (質疑応答含む)
- ※ **受講料** : 無料
- ※ **使用ツール** : Zoom
- ※ **主催** :
 - ・ MOSHIMO 研 福井
 - ・ Email : ikuma.fukui@wmjplab.com

■ 講演内容

本講では、製造業の利益に直結する、製品の安全係数と検査基準・規格値に関して、勘コツ経験を基にした決定の疑問を振り返ります。

また、その解決策として有効な損失関数(JIS Z 8403)の概要を解説いたします。

損失関数は顧客に迷惑をかけず、自社の経済性も考慮した安全係数、検査基準・規格値の決定方法です。

※ **目次：**

1. 品質工学概要 損失関数の位置づけ
2. 安全係数、閾値、損失関数の概要
3. 検討事例 解説
4. 質疑応答

■ 配布資料に関して…配布資料は無くても聴講可能です

配布資料が必要な方には、PDF ファイルを、Email 等で送信いたします。申込者ご自身で印刷ください。なお、下記の注意事項にご留意ください。

- ・ 申込者数の部数だけ印刷ください。
- ・ 印刷済み資料は提供していません。

■ 申し込み方法

申込みフォームにアクセスできない場合は、Email にて、下記の申込み項目をお知らせください。一度に複数名申込みされる場合は、全ての申込者名等をご記入ください。

【申込み宛先：ikuma.fukui@wmjplab.com】

※ **申込み項目：**

- ・ 会社名 部署名 電話番号
- ・ 氏名
- ・ メールアドレス（フリーメールアドレス不可）

※ **記入例：**

- ・ ○○株式会社 ○○部 Tel 000-000-0000
- ・ 福井 太郎 aaa@ccc.com
- ・ 福井 花子 bbb@ccc.com
- ・ 福井 次郎 ccc@ccc.com

※ **注意事項：**講演当日、Zoom 接続時の名称を、申込み時の氏名にしてください。

■ 禁止条件

申込み前に、下記の禁止事項をご確認ください。申し込みされた時点で、下記の禁止事項に同意されたと見做します。

- ・ 講義の録音・撮影行為を固くお断り致します
- ・ 配布資料 PDF を印刷される際、申し込まれた人数を超える部数の印刷と配付を固くお断り致します。
- ・ 配布資料の複製、及び受講者以外への配付を固くお断り致します。
- ・ 弊所が提供する資料・ソフトウェアや、公知部分を除く知識・手法・ノウハウは「貴社内」でだけ使用いただき、「貴社内」以外の第三者への公開は固くお断り致します。
- ・ なお、前記「貴社内」には、貴社本社、貴社の子会社及び関連会社を含むとします。ただし、「貴社内」であっても対外的なコンサルタント／講師業に該当する場合は、「貴社内」に含まないとします。
- ・ コンサルタント／講師業の方の受講を固くお断り致します。
- ・ 前記、コンサルタント／講師業には、企業／大学等への所属有無を問わず、社外に対して技術指導・講演・発表・専門誌への寄稿等をされている方、今後指導や講演をされる目論見のある方（コンサルティング／講師業を開業準備の方）を含みます。

■ 講師紹介

MOSHIMO 研 代表 福井 郁磨

元オムロン（株）、元パナソニック（株）、元東レ（株）、元 LG Electronics Japan Lab（株）

・ 講師略歴：

人工知能応用技術・多変量解析・実験計画法・品質工学に関して、電子部品・ロボット・加工技術・検査技術・生活家電などの分野で約 27 年の経験を持つ。

※ 1993 年 4 月～ オムロン(株)：

電子部品の原理開発、加工技術開発、ロボットの研究開発、人の聴感判定を機械化した検査装置開発などに従事

※ 2006 年 6 月～ パナソニック(株)：

生活家電の要素技術、製品開発などに従事

※ 2007 年 11 月～ 東レ(株)：

液晶ディスプレイなどの微細加工技術開発などに従事

※ 2010 年 4 月～ LG Electronics Japan Lab(株)：

関西の新規研究所設立責任者、チームリーダー（兼務）などを歴任

※ 2015 年 5 月～ MOSHIMO 研：

製造業の開発支援、生活関連用品などの研究に従事

・ 製造業支援実績：

※ 講演：年間 120 回以上（年間受講者 1800 人以上）

※ 技術相談・指導：取引先 70 社以上

以上